



広報

No.233

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成3年5月末現在)

世帯数	7,871戸
人口	25,980人
男	13,327人
女	12,653人
4月の人口移動	
出生	35件
死亡	9件
転入	95件
転出	97件
婚姻	19件
離婚	5件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



浄水場がこわれたらどうなるの？

小学校四年生が北谷浄水場見学

○浄水場は何をするところですか。

○浄水場には休みはないのですか。

○水源地のド口はどこにいったのですか。

○水源地から家庭に届くまで何日かかりますか。

○浄水場がこわれたらどうなりますか。

など、施設見学を終わった後も子ども達の質問が続きました。

六月一日から六月七日までの一週間、第三十三回水道週間に当たり、町水道課では六月四日午前、町立三小学校四年生四百八名を対象に、北谷浄水場の施設見学を実施しました。

これは、水道についての理解と関心を高め、限りある水資源の大切さと公衆衛生の向上を図るために実施されたものです。

水道は、健康で文化的な日常生活を営む上で欠かすことのできない施設であり、また、社会経済を支える重要な施設です。

国や県では、水の安定供給を図

るためダムの建設や水道施設の整備拡充を進めているところです。

しかし、年々増加を続ける水需要と反対に水資源の確保は、依然として気象の影響を受ける状況下にあります。

なお、前日(三日)にも町給水工事指定店のご協力で、水道に対する理解を訴えるため車による街頭パレードが行われました。

みなさん、水事情SOSです。

節水にご協力を！

主な内容

- 二頁：キャラバン隊
- 三頁：民生委員・初総会
- 四頁：地域連絡会
- 五頁：各種団体の総会
- 六頁：シリーズ(2)
- 七頁：区の見学
- 八頁：道路排水愛護の日
- 九頁：宝くじ
- 十頁：女性コーナー

☆七月の行事予定

ニュース
でーびる

優良農家を表彰激励
第二回町農家の集い

町（平安恒政町長）および町農業協同組合（宮平定昌組合長）共催による『第二回西原町農家の集い』が五月十七日午後三時、町中央公民館で盛大に開催された。

これは、本町の農業に従事する農家の皆様が一堂に会し、親睦と交流を深めることにより、農業の効率的な推進を図り、農業の振興発展に寄与することを目的としたもの。

集いでは、宮平定昌町農業協同組合長の開会のあいさつ、平安恒



農家の集いで表彰された10名の皆さん：5月17日 町中央公民館

政町長の主催者代表あいさつの後、優良農家に対し表彰状の授与が行われた。また、来賓のあいさつとして新城豊子中部農業改良普及所長および城間光雄町議会議長が行ない二五〇名余の参加者でにぎわった。

なお、平安町長は、「かつては農業で栄えた村であったが、近年都市化が進む中、農地が減るなど年々きびしい状況にある。こうした

補導は消極的すぎるのでは？

平成三年度青少年育成キャラバン活動

沖縄県・県教育委員会・県警察本部・（社）県青少年育成県民会議主催で、平成三年度青少年育成キャラバン活動が六月五日午後三時、町中央公民館で開催された。

キャラバン活動とは、キャラバン隊（県・教育庁・警察本部・青少年育成県民会議・青少年団体連絡協議会からそれぞれ一名）を編成して市町村を巡回訪問し、青少年の健全育成について、関係機関

ときびしい中で農業を守っていく皆さんのご苦労に敬意と感謝を申し上げます。町としては、一層基盤整備事業等を推進するとともに、今後さとうきび振興対策推進協議会（仮称）を設置し農業振興の推進を図っていきたい。」とあいさつを述べた。

また、集いでは、ときわ座真喜志康忠一行による余興も披露され参加した農家の皆さんの笑いを誘い、遅くまで交流が繰り広げられた。

なお、優良農家として表彰された方々は、次の通り。（敬称略）

- 〔さとうきび優良農家〕
- 呉屋正光（字小波津31）
- 小波津功（字小波津69）
- 新川善太郎（字小那覇101）
- 糸数佳祐（字与那城186—1）
- 翁長太郎（字幸地762—1）
- 〔花卉優良農家〕
- 西江正脈（字翁長561—2）
- 〔県農林水産部長賞〕
- 新垣幸善（字我謝746—16）
- 〔野菜優良農家〕
- 与那城義則（字安室66）
- 〔畜産優良農家〕
- 牛・与那嶺栄助（字幸地213）
- 豚・呉屋秀信（字与那城1—2）



活動報告をする鎌本末継さん
：6月5日 町中央公民館

は「補導は消極的すぎるのではなか。よい子を育てることも大事。また、子どもの深夜徘徊の特効薬は、大人が深夜飲酒をやめることではないか。」と述べた。

町議会（城間光雄議長）では、五月十五日午後、茨城県鹿島郡神栖町議会（加藤清議長）が計画した行政視察研修を受け入れた。

同研修は、先進地を行政視察研修することにより、今後の議会活動に反映するためのもの。

同議会民生常任委員会の一行十二名が本町議会の概要と水道事業について研修を行なった。

また、翌十六日午前、兵庫県佐用郡上月町議会（梶原義正議長）議員一行十五名も本町議会を訪れ、町議会の運営状況と議員活動について研修を行なった。



城間議長から説明をうける上月町議員の皆さん
：5月16日 議会委員会室

議員研修を受け入れ

神栖町議会（茨城県）議員が行政視察

地域福祉の担い手に

町民生委員・児童委員協議会初総会

町民生委員・児童委員協議会(長嶺由光総務)は五月二十五日午後町社会福祉センターで、平成三年度初総会を開催した。

同協議会は福祉の措置を要する人などに対して、①調査活動②保護指導活動③社会福祉施設との連絡等④福祉事務所等関係行政機関の業務に対する協力⑤生活指導などの任務の遂行と円滑な運営をはかることを目的としたもの。

総会では平成二年度事業実績報告や決算報告、および監査報告が行われた。また、次に平成三年



民生委員、児童委員協議会 初総会のもよう
: 5月25日 社会福祉センター

度事業計画や予算、および規約の一部改正についての審議が行われ、全会一致で承認決定された。あいさつの中で長嶺総務は「同協議会は以前、社協の中に位置づけられていたが、昨年から書記・会計を設け、今年が初総会となった。」と説明した。

来賓あいさつに立った平安町長(助役代読)は「皆さんが日頃から福祉のために第一線でがんばっていることに感謝します。」と述べ、また宮平町杜協会長は「社協は同協議会あつての活動である。これまでの活動を一冊子にして地域に配ったことは大変意義深い。これから地域福祉の担い手としてがんばって下さい。」と激励した。最後に全員で、部会活動を強化していくことを確認した。

町表彰発展に貢献した方へ 町表彰条例に基づく功労者の表彰

町では、町表彰条例に基づく功労者の表彰を六月十一日午後、西原共同福祉施設で行なった。



功労者の表彰のもよう
: 6月11日 西原共同福祉施設

これは、町表彰規則第二条第二号から同条第八号にかかる者として、二十二名の個人および三団体に、表彰が行われたもの。

町長は、戦後の混乱期から町政に対し、ご尽力下さった五名の議員、今日の農業の発展に貢献した六名の農業委員、人材育成会等に寄付した個人六名および三団体、定年により退職した五名の皆さんの功績を讃えた後、「今後も健康に留意され町政の発展に御協力賜りたい。」と述べた。

- 町表彰された方々は次の通り。(敬称略)
- ▽満八年以上町議会議員の職にあった者
 - ①親泊輝武 32年 ②屋良朝光 28年 ③与那城長助 16年 ④新垣和男 16年 ⑤崎原盛善 12年
 - ▽満八年以上農業委員の職にあった者
 - ①新田宗善 18年 ②比嘉昭幸 18年 ③新垣善雄 15年 ④当間嗣貞 15年 ⑤小橋川盛吉 9年 ⑥玉那覇正之 9年
 - ▽町職員として満十年以上勤続し、業績が認められる者
 - ①大城幸盛 24年 ②崎原好子 16年 ③久場成子 38年 ④伊芸千代 17年 ⑤新垣テル子 16年
 - ▽町に対し五十万元以上寄付した団体
 - ①金秀グループ 200万円 ②南石油株(株) 100万円 ③東洋コンクリート(株) 100万円
 - ▽町に対し二十万元以上寄付した個人
 - ①新里ツル 40万円 ②上原清善 50万円 ③中谷行雄 100万円 ④新垣良申 20万円 ⑤小川孝 20万円 ⑥屋良朝進 20万円

ゴミについて考えよう

町婦人研修会開催



講演をする吉田朝啓さん
: 6月2日 町中央公民館

ゴミについて考えよう」と町婦人連合会(下地郁子会長)は、六月二日午前、町中央公民館で各支部会員を対象に婦人研修会を開催した。

これは、婦人が自ら進んで研修を行い、組織の強化を図ると共に、婦人の地位向上と地域の環境浄化を学びつつ、会員相互の親睦を深めることを目的としたもの。

研修会では午前中「せまりくるゴミ戦争」と題して、吉田朝啓さん(県公害衛生研究所所長)の講演が行われた。また、午後は「ゴミ減量を考える」をテーマに生活部から現状報告(①生ゴミについて②古紙について③廃油について④買物袋・包装紙について)が行われ、最後は関係機関も交えて質疑や懇談がもたれた。

講演の中で吉田所長は「ゴミの問題は、物に対する姿勢にかかっている。ゴミの中で燃やすべき物は何もない。すべて有機利用ができる。」とユーモアたっぷりに説明し、今後はゴミを五つに分けることを提案した。



来賓あいさつをする平安町長
：5月22日 町中央公民館

町農業協同組合（宮平定昌組合長）では、平成三年度通常総会を五月二十二日午後一時、町中央公民館で開催した。

総会では宮平組合長のあいさつの後、議長団に新垣正廣さんが選出され、提出された議案九件の審議が行われたが、すべて原案通り承認可決された。

また、来賓として平安恒政町長

「育てよう みんなの農協」 町農業協同組合通常総会

参加者約六百名の中で宮平組合長は「農業関係者にとって今後は益々きびしくなることが予想される。今後ともみなさんのご協力をお願いします。」とあいさつ。

また、来賓としてあいさつに立った町長は「町としても農業振興に今後とも努力をしていきたい。きびしい中でもみんなの農協であり、みんなで育てよう。」と述べた。



新会長（呉屋定子さん）から感謝状が手渡された
：5月27日 西原共同福祉施設

中、初の女性会長誕生は画期的である。町としても商工業活性化懇談会を予定するなど今後とも対話協調の精神を大事にしたい。」と祝い激励した。

なお、平成三年度新役員は次の通り。

▽会長 呉屋定子（ねばりや）
▽副会長 楢本末継（有日琉建築）
▽ 比嘉昭幸（昂アパート経営者）



地域連絡会辞令交付式のもよう
：5月27日 役場会議室

町では、町女性行政に関する地域連絡会委員辞令交付式並びに第一回地域連絡会を五月二十七日午後二時から役場会議室で開催した。

地域連絡会は、家族や地域に内在する女性問題を日常生活の中から掘り起こし、論議の過程を通して、自らの存在をも見つめ直すと共に、女性行政としての課題を整理してもらう。また、同連絡会の構成は、各種女性団体を中心に男

性委員も網羅したものとし、男女共同参加型社会の実現に向けて、その素地づくりを図ることを目的としたもの。

委員十四名（男性三名含む）に對し辞令を交付した後、町長は「男女平等については、環境や法的な面では整備されているが実質面ではまだまだであるため、行政がきちんとした計画をもって進める必要がある。皆さんの生の声を吸い上げたい。」と述べた。

同連絡会では、規則の審議をはじめ年間スケジュールについての説明の後、那覇市女性室係長の粟

ニュース
でーびる

地域連絡会もスタート

日常生活の中から掘り起こし

女性行政

初の女性会長誕生

町商工会第十六回 通常総会

町商工会（城間三郎会長）は第十六回通常総会を五月二十七日午後四時から西原共同福祉施設で開催した。

役員は任期満了に伴う改選では会長に呉屋定子さん（ねばりや店主）が選ばれ、県内初の女性会長として町商工会にさわやかな新風を起した。

来賓あいさつをした町長は「女性登用・女性参画が叫ばれている中、初の女性会長誕生は画期的である。町としても商工業活性化懇談会を予定するなど今後とも対話協調の精神を大事にしたい。」と祝い激励した。

なお、平成三年度新役員は次の通り。

▽会長 呉屋定子（ねばりや）
▽副会長 楢本末継（有日琉建築）
▽ 比嘉昭幸（昂アパート経営者）

国千恵子さんによる「女性行動計画の意義について」ミニ講演会が行なわれた。

なお、今後は町民に對しアンケートの実施や地域での聞き取り、

シンポジウムの開催などを予定し最終的には懇話会を設置し、十二月には同懇話会から女性行動計画の答申が出されることを目標に進めていく予定。（関連十頁に）

むる総会

サマースクール
などを新設し、
充実を図る

町人材育成会平成三年度総会

町人材育成会(平安恒政会長)は、五月二十八日午後二時から役場会議室で平成三年度総会を開催した。

総会では、二十二名の役員に対し委嘱状が交付された後、会則改正のほか三件の議案審議が行われ、原案通り可決承認された。

会則の改正の主なものは、学生生徒中心から町内に在住する者を対象に幅広い人材育成を行うことと、スポーツや文化行事及び派遣に要する経費に対する助成以外に新たに交流事業を加え、これからの国際化社会に向けた外国人との交流を設けるなど、より充実した



町人材育成会総会のもよう
: 5月28日 役場会議室

ものとなっている。

あいさつの中で町長は「町人材育成会への理解も深まり、貸付が十四名になった。また、海外の子ども達との交流に役立てるため、対外派遣の中に交流事業が新設された。具体的にはカナダ・アメリカサマースクール(約三週間)を予定している」と述べた。

生き残りは「品種改良」

町畜産組合(喜屋武栄一組合長)

では、五月三十日午後、役場会議室で平成三年度通常総会を開催した。

あいさつの中で喜屋武会長は、「畜産農家にとってきびしい中を生き残るには、『品種改良』以外にない」と述べ会員の奮起を訴えた。



町畜産組合総会のもよう
: 5月30日 役場会議室

われらは健康で 長生きして役立つ 老人になりましよう 第十九回町老人クラブ大会



みんなで楽しい老人クラブ大会
: 5月29日 町中央公民館

町老人クラブ連合会(呉屋安信会長)は、五月二十九日午後、町中央公民館で第十九回町老人クラブ大会を開催した。

大会では、約三百名の会員ほか関係者が出席する中で、六名の会員功労者への表彰状や二名の役員功労者への感謝状、および五名の高額寄付者に対し感謝状がそれぞれ贈られた。

その後、「知って得する法律」と題して、比嘉盛久氏(大学非常勤講師)による講演が行われ、続いて行われたレクリエーション大会では、姿も若く気も若い楽しい雰囲気になった。



あいさつをする平安会長
: 5月21日 役場会議室

町青少年協総会

町青少年健全育成協議会(平安恒政会長)

では、五月二十一日午後、役場会議室で平成三年度総会を開催した。

あいさつの中で平安会長は「子ども達の環境は複雑多様化している。夜間外出や深夜徘徊が多く大変憂慮されており、これが交通事故にも影響している」と述べた。

また、久高常良浦添警察署長は「深夜徘徊の原因である暴走族・カラオケボックス、ダイヤルQ、コミックマンガの乱売等は、社会的な責任があり、社会的な浄化が必要である。署としても努力したい」とあいさつ。

今後は、消極的指導から、研修等も入れるなど積極的活動を検討することを全員が確認した。

活動内容さらに充実

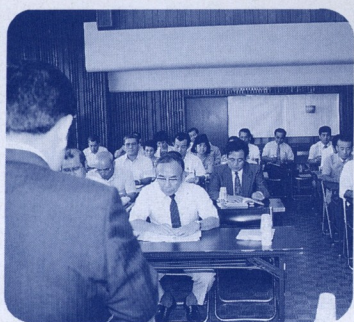
町交通安全推進協議会(平安恒政会長)は、五月三十一日午後三時から役場二階会議室で、平成三年度総会を開催した。

総会では、小川助役の開会のことには始まり、平安会長あいさつの後、交通安全功労者として一団体・三事業所・個人九名に対し表彰が行われた。

なお、表彰された方々は次の通り。(敬称略)

▽〔団体の部〕西原小学校PTA
▽〔事業所の部〕(有)共同交通、(株)東洋コンクリート、(株)中部製糖▽〔個人の部〕平良良健

(オキコ株式会社)、新里勝弘(西原東小PTA)、屋良朝進(上原区)、崎原裕右(美咲区)、新城良一(平園区)、呉屋實(嘉手苅区)、小橋川捷吉(与那城区)、与那城盛弘(安室区)、小波津善一(小波津区)



町交通安全推進協議会総会のもよう
: 5月21日 役場会議室

全国人権擁護委員連合会では、弱い者をいじめたり、他人の悪口をいいふらしたり、名誉、信用を

人権問題でお困りではないですか。



城間期 一さん



平良清仁さん

住所 西原町字翁長四七四番地
氏名 城間 期 一
電話 自宅(九四五一五四〇七)

住所 西原町字兼久十七番地
氏名 平良 清仁
電話 自宅(九四五一八四六七)
平良清仁法律事務所
(八三四一二三三五)

本町には法務大臣が委嘱した次
の人権擁護委員がおります。

傷ついたりするケースが近年増える傾向であり、明るい住みよい社会を築くために、皆さんとともに一層の人権思想の啓発に努めていくこととしております。



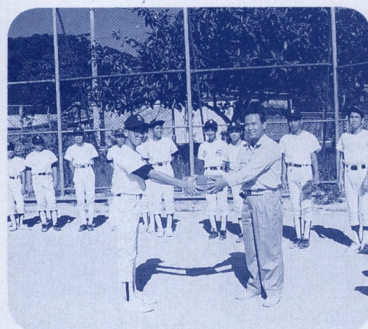
金秀グループから寄付金が手渡された。
：5月27日 町長室

ありん
くりん

町人材育成会と社協へ協賛金贈る 金秀グループが寄付を継続

金秀グループ(呉屋秀信会長)

は、「西原町の人材育成のために基金の一部として役立てて下さい。」と、五月二十七日午後平安恒政町長を訪問し、百万円を手渡した。町内に工場や事務所がある金秀グループでは、昭和六十二年から毎年五月頃に寄付を継続している。これに対し町長は、「毎年の寄付に感謝します。対外的なスポーツの派遣等町人材育成の基金として



平良会長からボール2ケースが贈られた
：6月3日 西中グラウンド

平良会長は、「本町にぜひ優勝旗を持って帰ってほしい。」と激励した。

同OB会は、四月二十八日に結成されたばかり。会員約五十名の会費から野球ボールの寄付を考え、五月二十三日にも東中学校野球部へ二ケースのボールを同様に寄付し、今回で二回目となった。

西原中学校野球部OB会(平良隆会長)は、六月三日午後西原中学校野球部に対し、二ケースのボールを寄付した。

本町にぜひ優勝旗を 二ケースのボール寄付

て有効に使いたい。」とお礼のことばを述べた。
また、同様に町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)に対しても三十万円を寄付した。

シリーズ

がんばってます②

子ども達によい環境を

朝五時、まだうす暗くみんなが寝静まっている頃、ビニール袋とほうき一本を持って、西原中学校体育館外側から運動場周辺のブロック塀に添って(約六百畳)、毎朝掃除をしているおじいさんがいらつしやいます。
時計まわりに運動場周辺から正門前、更に西側の駐車場前まで掃除を始めてたつぷり二時間、しかも毎日続けていらつしやるこの人は、字呉屋百二十三番地の二比嘉玄吉さんです。
八十才になる比嘉さんは、教職を定年退職した後、本町に住



毎朝掃除をする比嘉玄吉さん

むことになったが、子ども達の環境のことがいつも心から離れなかつたとのこと。
町地域ぐるみ基礎学力向上推進協議会の委員でもある比嘉さんは「毎朝、掃除を続けて十年になる。子ども達が毎日気持ちよく勉強できれば私もうれしい。学推協の委員をやるからには、言うだけじゃダメです。実践も大事ですよ。もちろん、自分の健康管理のためでもあります。」と手袋をはいた手を休ませて、笑顔で答えてくれました。

区の情報コーナー

前回から区の情報コーナーを始めました。

限られた紙面の中で紹介しますので、細かい説明ができないことをご了承下さい。

町民の皆さん、早く覚えてね。

徳佐田区

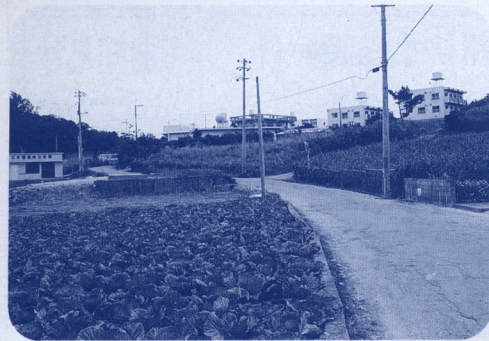
徳佐田区は、人口三百十人で、

九十一世帯(平成三年五月底現在)の浦添市に隣接した部落です。

南伸道路が部落西側を走っていることや、ミニトマト栽培の盛んなところですよ。

これまでの三区から分離し、一つの小部落で行政区を形成しています。

事務担任者の平良ヨシ子さんは



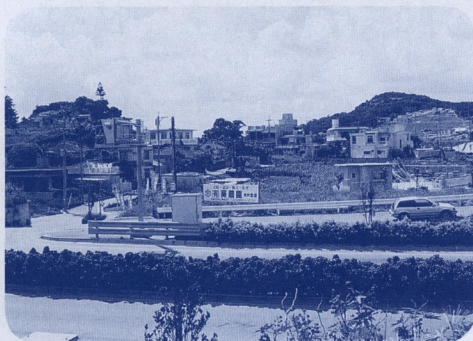
徳佐田区公民館近くの風景

「部落行事などをこれからどうするのか、自治会長の佐久田さんと協力しながらがんばりたい。区民も協力的なので大変うれしいですね。」と語った。

今後、ゴミの出し方(決められた日の朝に出すこと)や、公民館の有効利用について区民と話合っていきたいとのこと。

森川区は、人口三百十七名で、百四十二世帯(平成三年五月底現在)の部落です。

森川区



森川区の風景

宜野湾市と浦添市に面し、部落の上を南伸道路が走っているのが特徴です。

事務担任者の島袋成喜さんは、

「学校が遠いため、他の市町村へ異動する人が多い。そのため若者が少なく部落行事がやりにくい面がある。しかし、議員も増えたので少しずつ活気が出るのでは」と述べた。

区の当面の課題は、道路や排水の整備が遅れているため、関係当局へ要請を継続していくとのこと。

千原区



新築の盛んな千原区の風景

千原区は、人口八百四十三人で七百六十八世帯(平成三年五月底現在)の部落です。

昭和五十四年琉球大学の移転を契機に、日々目まぐるしく変化しているところで、琉大寮の学生が七百人余といわれている。

事務担任者の島袋成喜さんは、

「琉大や南伸道路の影響で、部落

の様相が変化しているところで、人口も徐々に増えている。しかし、南伸道路の騒音がひどいとの声がある。少しくなりましす。」と述べた。

講演会を開催

小波津団地婦人会

小波津団地婦人会(上亀愛子会長)は、平成三年度事業の一環として、五月二十三日団地集会所において講演会を開催した。

講演会では、森川浩行氏(沖縄郵政管理事務所、郵政事業部長)によるゆんたく「ヤマトウチンチユから見たウチナー」の演題で行われた。

森川氏は、昨年沖縄へ赴任してまだ一年にもならないが、沖縄の方言や生活・文化にたいへん親しみ、本土(ヤマトウチ)の生活



講演をする森川浩行氏
：5月23日小波津団地集会所

区の大課題は、公民館がないので今後、敷地の確保に取り組むとのこと。

習慣の違いなどを語り、また沖縄の民謡にも興味をもち、「想唄」ほかレパートリーは広く、フロアからの要求で早速民謡を披露して下さいましたが、終始ユニークなゆんたくと笑いでも有意義な講演会でした。

なお、森川氏は沖縄のすばらしい自然や景観地を自作の水彩画を持参して展示もしていただきました。小波津団地婦人会より

新たに三名が採用

町では、技術職三名の新規採用職員がこの程決まり、五月二十二日午前、町長室で辞令が交付されました。

なお、採用された職員は、次の方々です。

▽与那嶺忠、技手、水道課、

(幸地区)

▽新垣恒夫、技手、都市計画課

(我謝区)

▽呉屋定政、技手補、土木課

(棚原区)

募 集 中

『農山漁村婦人の日』標語・図画・写真コンクール

農山漁村婦人の社会活動への参加をすすめるとともに、婦人の役割、能力について社会的評価を高めるために、『農山漁村婦人の日』が設定されました。『農山漁村婦人の日』の普及啓発を図るための標語・図画・写真を募集しています。奮ってご応募下さい。

募集要領

- ◆応募資格／○性別、年齢、職業を問わない。
- ◆テーマ／○いきいきとした農村婦人の姿
 - これからの農村婦人としての希望、夢
- ◆応募方法／○標語は、葉書または封書のどちらで応募してもよい。
 - 図画は画用紙（四つ切り36cm×52cm）に書いて応募する。
 - 写真は6つ切り（8cm×10cm）とする。
 - 但し、いずれも住所、氏名、年齢を明記すること。
- ※写真、図画の応募作品には、タイトルやエピソードを記入すること。
- ※応募作品は、返品しない。
- ◆提出先／○西原町役場産業課
 - 〒903-01 西原町字嘉手苅112番地
 - 中部農業改良普及所中城支所
 - 〒901-24 中城村字伊集121番地
- ◆応募の締切／○平成3年8月15日

平成2年度 標語の部 最優秀賞
 “農山漁村 輝く未来は
 婦人の知恵と輪で”

※詳細については、中部農業改良普及所中城支所
 電話895-5553まで、お問い合わせ下さい。

7月10日は道路排水愛護の日

1日共同作業で環境美化の気運を！

快適で明るい住みよい町づくりを推進するため、町では、7月10日(水)を『道路排水愛護デー』と設定し、町内の道路や排水などを清掃する共同作業を実施いたします。

これは、地域の環境美化に関心を深め、道路排水や河川海岸愛護の心を育て、町民ぐらみで住みよい環境づくりを推進しようとするもので、今年で10回目を迎える。

「道路排水愛護デー」では、

- 1 内間～小那覇線
- 2 小波津準用河川
- 3 海浜等
- 4 徳佐田川・県道38号線
(翁長地内)

を中心に、町内各事業所や各種団体、および役場が一致協力して共同作業を行なうことになっている。

※詳しいことについては、

町役場土木課へ問い合わせ下さい。

☎ 945-5011 (内 52)

お知らせ
でーびる



募
集

税に関する高校生の作文募集

国税庁をはじめ沖縄国税事務所及び各税務署では、高校生の皆さんを対象に、毎年、税に関する作文の募集や租税教室の開催、租税に関する副教材の配付などを行っています。今年も全国の高校生の皆さんから「税に関する作文」を募集しますので、奮って応募してください。



○高校生であればどなたでも応募できます。

(応募は9月5日まで)

○税について、日頃考えていることや意見など、税に関することであれば何でも結構です。

○優秀作文には賞状と記念品を贈呈します。

※詳しくは北那覇税務署にお尋ねください。☎877-1324

＝税務職員(税務大学校学生)募集＝

人事院、国税庁では税務職員(税務大学校学生)を募集しています。

国家公務員採用Ⅲ種試験(税務)に合格し採用された方は、採用と同時に全員が税務大学校普通科に入校し、約一年間、大学水準の教養と税務職員として必要な専門知識を習得するための教育を受けることになります。



Ⅲ種試験(税務)の概要は次のとおりです。

受験資格	昭和46年4月2日から昭和49年4月1日生まれの者
試験の程度	高校卒業程度
受験申込 受付期間	平成3年7月3日(水)から7月10日(水)まで、提出先は人事院沖縄事務所。 なお、申込用紙などは、人事院沖縄事務所のほか、沖縄国税事務所、税務署にあります。

※詳しくは、沖縄国税事務所人事課まで。

☎ (098) 867-3101 (内511)



平成3年度国家公務員採用Ⅲ種試験について

1. 人事院沖縄事務所では、平成3年度国家公務員採用Ⅲ種試験の受験者を募集している。
 2. この試験は、高等学校卒業程度の試験で県内に所在する国家行政機関の第一線で活躍する職員を採用するためを行う。
 3. 試験区分は、事務系（行政事務A・B、郵政事務A・B、税務）、技術系（電気、機械、土木、建築、農業、農業土木、林業）の12区分である。
 4. この試験の受験資格は、行政事務A・B、郵政事務A・B及び技術系の区分は、昭和43年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた者、税務の区分は、昭和46年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた者となっている。
 5. 申込受付期間は、7月3日(水)から7月10日(水)となっているので、受験希望者は、この期間中に、受付事務を行っている人事院沖縄事務所に申し込んでいただきたい。
- 受験案内、申込用紙は、6月3日から人事院沖縄事務所、各短期大学学生部、各高等学校の進路指導部、各公共職業安定所、各公立図書館で配布する。
6. 第1次試験は、9月29日(日)に那覇市（那覇高等学校）、平良市（宮古高等学校）、石垣市（八重山商工高等学校）の3か所を予定している。
 7. 各省庁の採用日は、概ね来年の4月1日である。
 8. 人事院沖縄事務所では、沖縄の振興、発展のために行政の第一線を担う職員として、個性豊かで優秀な人材を確保したいと考えており、このⅢ種試験に数多くの志望者が受験することを期待している。

○ 試験に関する御質問等につきましては、下記に御照会ください。

人事院沖縄事務所（調査課 任用・試験担当）

〒900 那覇市樋川1-15-15

（那覇第一地方合同庁舎西棟5階）

TEL 098-834-8400・8401・8402

沖縄矯正展

日時 7/13(土) 10時～16時

14(日) 9時～16時

主催 沖縄刑務所 沖縄女子学園

沖縄少年院 那覇少年鑑別所

後援 九州地方更生保護委員会那覇分室

那覇保護観察所 沖縄県更生保護婦人会

協賛 沖縄テレビ・琉球放送・NHK

沖縄タイムス・琉球新報

ラジオ沖縄

共助施設 全国刑務所

会 沖縄刑務所

場 島尻郡知念村字具志堅330
問合せ先 ☎098-948-1653(作業課)

開催趣旨

- ☆ 当所では、毎年7月の「社会を明るくする運動」の一環として矯正展を開催しております。
 - ☆ 本矯正展は、刑務作業において受刑者が製作した製品を広く一般社会に紹介し矯正行政に対する町民の理解と協力を得るために実施するものであります。
 - ☆ 全国には、現在約4万5千人の受刑者が74の施設に収容されています。
- 受刑者は、社会復帰に備え健全な心身を養うため、規則正しい生活を送りながら所内の工場で職員の指導を受けながら、作業に励んでいます。
- ☆ 刑務作業は、受刑者に対して職業的技能を付与することなどを目的としていますが、受刑者は組織的プログラムに基づき、木工、金属、印刷、縫製、革工、工芸等の多くの業種の作業をしており、その技能も向上しております。

平成3年度市町村振興宝くじ発売概要

- | | | | |
|------------------|---|---------|--|
| 1. 発売額 | 1,200億円 | 5. 発売期間 | 平成3年8月22日(木)～9月6日(金)
(16日間) |
| 2. 証票単価 | 300円 | | |
| 3. 発売方法 | 予約制（官製往復ハガキによる申込または店頭予約券） | 6. 抽せん日 | 平成3年9月20日(金)
大阪厚生年金会館 |
| 4. 予約方法 | | 7. 支払期間 | 平成3年9月25日(水)～平成4年9月24日(木)
(発売総額1,200億円
40ユニットの場合の当せん金) |
| (1) 予約期間 | 平成3年7月23日(火)～8月6日(火)
(15日間)
《追加予約（予定）
平成3年8月9日(金)～15日(木)（7日間）》 | 8. 当せん金 | |
| (2) 予約申込先 | | | |
| (ア) 予約券による場合 | 全国宝くじ売場 | | |
| (イ) 官製往復ハガキによる場合 | 〒100 東京中央郵便局
留置
第一勧業銀行 宝くじ部 | | |
| (3) 購入枚数 | ハガキ1枚または予約券1枚で宝くじ50枚まで購入できます（お1人でハガキまたは予約券は何枚でも申込めます。） | | |

等級	当せん金	本数
1等	6,000万円	160本
1等の前後賞	2,000万円	320本
1等の組違い賞	10万円	15,840本
2等	1,000万円	160本
3等	100万円	800本
4等	10万円	40,000本
5等	1万円	400,000本
6等	3千円	800,000本
7等	300円	40,000,000本
デラックス・レジャー賞 (特別賞)	700万円	2,000本

寄付・香典返し

▽在アルゼンチン（字嘉手苅出身）の中山正二さんが、五月十六日町人材育成会に対し二万円寄付。

▽字我謝149番地、小橋川加代さん故夫、亀さんの香典返しとして町社協へ十万円。

▽字兼久345番地、玉那覇純教さん故二男、悟之さんの香典返しとして町社協へ十万円。

「暴力団侵入阻止浦添・西原住民会議」結成大会

日時：7月6日(土)午後1時

場所：浦添市民会館中ホール

※町民の参加を呼びかけます。

みんなが入って みんな納めて みんなが受ける国民年金

7月(JUL)行事・祭事予定

- 3日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 5日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
○3才児健診 13:30 社会福祉センター
- 6日(土) ○七夕まつり 14:00 児童館
○「暴力団侵入阻止浦添・西原住民会議」結成大会
13:00 浦添市民会館中ホール
- 7日(日) ○各区対抗野球大会 (町体協)
○軟式テニス発展大会 (町体協)
- 10日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○ツ反 14:00 町中央公民館
○道路排水愛護の日
- 12日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
○BCG 14:00 町中央公民館
- 13日(土) ○第11回町青少年健全育成協議会町民総決起大会
14:00 町中央公民館
- 14日(日) ○各区対抗バレーボール大会 (町体協)
- 17日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○離乳食実習 13:30 町中央公民館
- 18日(木) ○1才半健診 13:30 町中央公民館
- 19日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 20日(土) ○親子手づくり講習会 14:00 児童館
- 21日(日) ○各区対抗バスケットボール大会、卓球大会 (町体協)
- 24日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○ビデオ大会 10:00、14:00 児童館
- 25日(木) ○おばけ屋敷大会 10:00、14:00 児童館
- 26日(金) ○おばけ屋敷大会 10:00、14:00 児童館
○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 27日(土) ○夏休み親子講座 14:00 町中央公民館
○おばけ屋敷大会 10:00、14:00 児童館
- 28日(日) ○第6回各区対抗テニス大会 (町体協)
- 30日(火) ○トランポリン講習会 14:00 児童館

女性
コーナー

みんなであつくりあける女性論

企画 安里 英子

「女性学」とか「女性論」という言葉があります。とくに「女性学」については、「沖縄学」という学問が成立するのかもしれないところですが、すでに言葉そのものは一人歩きをはじめているわけです。

事実、とつくの昔から世界中で女性解放運動が行なわれ、女性論が展開されてきました。そして近年では行政の中でも積極的にとりあげられるようになり、今や女性論「花ざかり」というところです。しかしながら、一方では女性論は生身の人間論でもあるわけで、抽

象的でとらえがたい面もあります。しかも、現代というのは伝統的生産様式や伝統的生活様式が崩壊し新しい時代へとむかう過渡期にあるので、なおのこと、どのよう生きるか」ということについては混沌としているように思います。ですから、ある意味では「女性論」あるいは「女性学」は完成されているわけではなく、いまだに成長をつづけている学問、といえるかもしれません。ということは、これから私たち一人一人がその中味

をつくりあげていかなければならないということでもあります。

特に、沖縄の場合、日本本土とはまたちがう生活、文化、歴史をもっており、独自の女性論を展開していかなければならないのではないのでしょうか。

今回は、今特に私たちの身のまわりで話題にされている「男女の役割分担」は、はたして男女差別につながるのかどうかということについてふれてみたいと思います。

商工会新役員が表敬

町商工会(呉屋定子会長)では六月六日午前、町長を訪ね新任のあいさつを行いました。

呉屋会長は「わんがさねーたーがすが」の精神でがんばります」と抱負を述べました。



堂々たる新役員の皆さん：6月6日 町長室

編集後記

商工会の新会長になった呉屋さんの会話に「私はウーマンパワーという言葉が大嫌いです。女はやはり内助の功ですね。」とはっきり語ったので、びっくりしました。私は、はてさてどっちとも言えない自分が何とも恥しいやら逃げてるやら……

水事情が心配です。誰か雨ふらちきみそーり、うにげーさびら。

河川・海岸愛護月間：平成3年7月1日～7月31日まで

わたしたちの手で川や海をきれいにしてみませんか？ うるおいと快適なまちづくりのために！